

日本
経済
新聞

号外

ご購入・ご試読の
お申し込み

NIKKEI

☎0120-21-4946
(7:00~21:00)<https://www.nikkei4946.com/tg/>

日経電子版

<https://www.nikkei.com/>

日経平均 最高値 取得

日経平均

現在値 (24/ 2/22)

39098.68
+836.52始 9:00 38508.07
高 14:48 39156.97
安 9:00 38508.07

39,200

39,000

終値 3万9098円

稼ぐ力回復を評価

3万9000円台で取引を終え、史上最高値を更新した日経平均株価(22日、東京都中央区)

22日の東京株式市場で日経平均株価が史上最高値を更新した。終値は前日比836円(2%)高い3万9098円だった。企業の稼ぐ力の回復や脱デフレの期待などを背景に海外マネーが流入した。バブル期の1989年12月29日につけたこれまでの最高値(3万8915円)を上回り、初めて3万9000円台にのせた。

株価は企業業績を映す。日本経済新聞社が東証プライム市場に上場する3月期決算企業の業績予想を集計したところ、金融を含む全体で2024年3月期の連結純利益は前期比13%増え3期連続で最高益を更新する見通しだ。日本の脱デフレが注目され、海外投資家が日本株を再評価する動きが広がっている。けん引役は自動車だ。トヨタ

自動車は円安で輸出採算が改善。北米を中心に利益率の高い車種が売れている。生産を制約していた半導体不足も解消されてきた。24年3月期の連結純利益見通し(国際会計基準)は前期比84%増の4兆5000億円の見通し。22日には上場来高値をつけ、時価総額は57兆円を上回る。

値上げも稼ぐ力を高めている。製品やサービスに魅力があれば値上げが受け入れられると手応えを得た企業が増え、業績好調な企業も多い。内需では、経済活動の再開や訪日外国人客の需要を取り込む企業で堅調さが目立つ。上場企業の手元資金は100兆円規模に膨らみ、賃上げの余力は十分にある。賃金と物価の好循環に向けた期待も株高の追い風だ。

企業の統治改革の進展に注目する投資家も多い。地政学的に中国を避け、日本にマネーが向かう流れもある。時価総額では東京市場が上海市場を抜いて3年半ぶりにアジア首位に返り咲いた。国内では新しい少額投資非課税制度(NISA)が1月から始まった。貯蓄から投資に踏み出す家計の資金が株価底上げにつながるという側面もある。